

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

かほく市長 油野 和一郎

市町村名 (市町村コード)	かほく市 (17209)
地域名 (地域内農業集落名)	高松地区 (高松)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 12月 26日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・高松地区では、水稻、ぶどう、長いもを生産している。
- 【水稻】
- ・水稻については、地区外の農業者を中心に営農している。
- 【ぶどう】
- ・高齢化の伴う離農により農家戸数および栽培面積は減少していることから、産地を維持するには後継者の確保が必要。
 - ・ほ場情報や後継者の有無について、情報収集が必要。
後継者がいないならば外部から呼び込む必要がある
 - ・ぶどうについて、高松ぶどうの房・粒の大きさは他県で生産されるデラウェアにはない特徴であることから市場ニーズは高い。
 - ・「高松ぶどう」のブランド維持のために共販量の確保が必要。 目標（必要）出荷量 50 t／年
- 【長いも】
- ・担い手が高齢化、減少しているため、後継者の育成と新たな担い手の確保が必要。
 - ・農地が市街地周辺に分散している。将来的に営農が持続可能であるまとまった農地の確保が必要。

（２）地域における農業の将来の在り方

- ・【水稲】
 - ・地区外からの農業者を中心に営農を継続する。
 - ・【ぶどう】
 - ・高松ぶどう（デラウェア）、ルビーロマンを中心に産地化を推進し、その他大粒品種等をあわせて営農を継続する。
 - ・高齢化に伴い、防除が難しい農家が増えた場合は、産地での集団防除または業務委託を整備する。
 - ・【長いも】
 - ・居住地、年齢、性別を問わず、新たな担い手の確保に努める。
 - ・規模拡大意欲のある農業者がまとまった農地を確保できるよう情報収集に努める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	144.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	144.0 ha
（うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積）【任意記載事項】	0.0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

--

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
・ 担い手への農地の集積・集約化に努める。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
・ 農地の集積にあたり、担い手の経営意向を踏まえ、農地中間管理機構の活用に努める。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
・ 地区外出身の農業者等についても多様な農業者として位置づけ、育成や支援に努める。 産地維持のための担い手の受け入れに前向きな農家で有志の会を結成し、担い手呼び込み・育成方法の検討と実施
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・ 防除、土づくり資材の散布、剪定委託などについて、JA石川かほかおよび農業サービス事業体による事業の活用方法を検討する。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

①鳥獣被害防止対策	②有機・減農薬・減肥料	③スマート農業	④輸出	⑤果樹等
⑥燃料・資源作物等	⑦保全・管理等	⑧農業用施設	⑨耕畜連携	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①②③鳥獣被害対策、有機・減農薬・減肥料、スマート農業について情報収集に努める。
⑤長いも、ぶどうについて、病害抵抗性、耐暑性に優れた品種、栽培方法等の導入について情報収集に努める。